

平成19年度春季全国大会シンポジウム基調講演の募集について

本会では、毎年、春季講演大会において、溶接・接合工学に関する特定の課題について、シンポジウムを開催しています。来る平成19年度春季全国大会においては、下記の主題の下、シンポジウムを開催いたします。

シンポジウムをより実りのあるものとするため、基調講演を広く募集いたします。

会員各位におかれましては、奮ってご応募下さいますよう、お願い申し上げます。

1. 主題：溶接・接合工学におけるビジュアル化の最前線
－「見える」溶接工学「創る」溶接技術－

2. 座長：小溝裕一（大阪大学）
田中 学（大阪大学）

趣 旨：局所加熱・溶融・凝固・冷却という一連の過程をたどり接合部を形成していく溶接・接合プロセスでは、投入したエネルギーがどのような熱源として発生し、その熱源からどのようにして材料にエネルギーが伝達され、そのエネルギーが材料中をどのように輸送されるのか、そうして残されたエネルギーがどのような形態を成して消費されるのか、という溶接・接合プロセスの中で最も基本的でありながら、そのひとつひとつで観察される現象が極めて複雑であるとともに相互に干渉しているため、未だ不透明な部分が数多く残されている。これら溶接・接合プロセスにおいて観察される現象を定量的に「見える」形で現すことは、溶接・接合現象の理解を深めることはもちろんのこと、溶接・接合部の形状や状態、さらには特性や性能等を高い信頼性の下に予測・制御する上で極めて重要である。

そこで本シンポジウムでは、近年の進歩が著しいコンピュータシミュレーション技術を中心に、溶接・接合工学におけるビジュアル化の最前線を取り上げ、プ

ロセス、材料、力学・設計、施工・管理の4つの視点から、生じる現象が定量的にどこまで「見える」ようになったのか、「見える」ことによって何が理解され、技術開発や品質管理にどのように役立てられるのか、という観点で検証し、今後の溶接・接合工学におけるビジュアル化の意義と指針を議論したい。なお、本シンポジウムは、平成19年度春季全国大会フォーラム「溶接冶金現象のその場観察の現状と課題」と連携したものである。

3. 日 時：平成19年4月18日（水）14:00～17:00

4. 場 所：日本教育会館（東京）

5. 基調講演申し込み方法

任意の用紙にタイトル、著者、アブストラクト、連絡先をご記入の上、学会事務局に提出下さい。

6. 申し込み締め切り日：平成18年11月15日（水）

7. 講演採否

申し込みいただいた講演は、採否決定次第、お知らせいたします。

8. 前刷原稿提出期日：平成18年12月28日（木）

採択された講演は、溶接学会論文集第1号（2月号）に前刷りを掲載いたしますので、所定のオフセット原稿用紙6枚以内（表、図、写真を含む）の原稿を作成し、ご提出下さい。なお、講演時間は1件20～25分程度を予定しています。

9. 討論・質問の申し込み

講演前刷りをご覧いただいたうえで、討論および質問を募集いたします。積極的に参加いただくことを期待します。

討論・質問の希望者は、対象講演と質問内容を簡潔に記載し、平成19年3月8日（木）までに、学会事務局あて、ご提出下さい。